

令和元年 5 月 22 日
気 象 庁

気象庁防災情報 XML フォーマットに係る資料の一部更新について

気象庁では、市町村の避難勧告等の重要な判断材料や住民における避難行動の参考資料として、土砂災害、浸水害及び洪水に関する危険度分布情報を公開・提供しているところです。

今般、この危険度分布が示す 5 段階の危険度（色）の変化を迅速かつ確実に伝えるため、気象庁防災情報 XML フォーマットによる「大雨危険度通知」電文の提供を開始することとしました。

これに関する XML 電文に係る以下の変更について、気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ (<http://xml.kishou.go.jp/>) に掲載している関連資料の一部の更新を行いましたので、お知らせします。

変更内容は以下のとおりです。

1. 概要

「大雨警報（土砂災害）の危険度分布（土砂災害警戒判定メッシュ情報）」、「大雨警報（浸水害）の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の各格子点における危険度の変化状況及び気象庁の発表する大雨警報等の発表状況を利用して、二次細分区域等の単位で 10 分毎に判定した結果を、新たな情報名称（Control/Title：大雨危険度通知）により提供します。

2. 辞書の更新

(1) ヘッダ部辞書（jmx_ib）

type.head の子要素 InfoKind のとりうる値に“気象危険度通知”を加えます。

(2) 気象分野個別辞書（jmx_mete）

type.Property の子要素 Type のとりうる値に“危険度分布”を加えます。

type.Significancy の type 属性のとりうる値に“大雨危険度”を加えます。

type.Significancy に子要素“Condition”及び“Remark”を加えます。

3. スキーマのバージョン

今回の更新により、XML スキーマ“jmx_mete”が変更されます。これに伴い、以下の通りメジャーバージョンアップを行います。なお、名前空間の変更はありません。

- ・ jmx_mete: 1.2→1.3

4. コード管理表・個別コード表の更新

今回の修正に際して、コード表に変更はありません。

(1) 対象地域・地点コード管理表

- ・"code.AreaForecastLocalM"で用いるコード名 AreaForecastLocalM の出現電文 (InfoKind)に"気象危険度通知"を追加します。

(2) AreaForecastLocalM コード表

- ・"MeteorologicalInfos/@type"と大雨危険度通知の対応を表外に追記します。

5. 解説資料の更新

「大雨危険度通知」の解説資料を新たに提供します。

6. サンプルデータの追加

「大雨危険度通知」のサンプルデータを追加します。

7. 全内容出力スタイルシートの更新

「大雨危険度通知」に対応する全内容出力スタイルシートを新たに提供します。

<更新する資料一覧>

- ・気象庁防災情報 XML 一覧表
- ・辞書
- ・XML スキーマファイル
- ・辞書・スキーマバージョン管理表
- ・コード管理表
- ・個別コード表
- ・解説資料整理表
- ・「大雨危険度通知」解説資料
- ・サンプルデータ整理表
- ・サンプルデータ
- ・全内容出力スタイルシート整理表
- ・全内容出力スタイルシート
- ・管理部・ヘッダ部の運用整理表
- ・UTF-8 依存文字列利用状況